

事務事業名		市役所庁舎前線道路新設事業				☒ 実施計画登載事業		☐ 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備						01	08	02	03	36
根拠法令						☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 25 年度～ 2 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	都市整備部建設課						A 政策事業 (B) 施設整備				
	課長名	金野尚一						C 施設管理 D 補助金等				
	係名	土木係	電話	0192-27-3111		E 一般(A～D以外)						
	担当者	熊谷孝弥	内線	316								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
本路線は、市道宇津野沢権現堂線を起点とし、市道盛小学校線へ通じる路線である。 今回の整備は、防災拠点である市役所への既設道路が市道宇津野沢権現堂線への1方向しかないため、有事の際、市役所利用者や職員の市役所へのアクセスが不便な状況である。今回の改良により、大船渡市役所及び市道盛小学校線へのアクセスの利便性や現道の拡幅・急勾配区間の解消が図られる。 【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 平成25年度～H26年度 ・用地測量・補償調査(1式) 平成27年度 ・用地買収、補償業務 平成29年度～31年度 ・工事施工370m 平成31年度～令和2年度 本事業の完了は、令和2年度の予定である。 事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。						総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金	115,046			
都道府県支出金												
地方債	106,300											
その他												
一般財源	11,319											
						事業費計 (A)	232,665					
						正規職員従事人数	12					
						延べ業務時間	1,144					
						人件費計 (B)	4,576					
						トータルコスト(A)+(B)	237,241					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

工事施工

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

工事施工

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市道市役所庁舎前線、盛保育園2号線、新設道路

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

利便性が向上するとともに、安全に通行できる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全で快適に移動できる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 用地買収面積	m ²
イ 整備延長	m
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 計画総延長	m
キ 主たる利用者数(市民全員)	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m
シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円	17,684			962	36,400	60,000
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円	11,200		2,600	5,800	32,700	54,000
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	589		141	889	3,700	6,000
			事業費計 (A)	千 円	29,473	0	2,741	7,651	72,800	120,000
	人件費	正規職員従事人数	人	3	0	2	3	2	2	
		延べ業務時間	時 間	248	0	80	120	232	464	
		人件費計 (B)	千 円	992	0	320	480	928	1,856	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	30,465	0	3,061	8,131	73,728	121,856	
⑤活動指標		ア	m ²	0	0	959	2,949	0	0	
		イ	m	0	0	0	0	0	370	
		ウ		-	-	-	-	-	-	
⑥対象指標		カ	m	370	370	370	370	370	370	
		キ	人	38,167	37,633	36,933	36,234	36,234	36,234	
		ク		-	-	-	-	-	-	
⑦成果指標		サ	m	0	0	0	0	0	370	
		シ	%	0	0	0	0	0	100	
		ス		-	-	-	-	-	-	

事務事業ID	1440	事務事業名	市役所庁舎前線道路新設事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

防災拠点である市役所への既設道路が市道宇津野沢権現堂線への1方向しかないため、有事の際、市役所へのアクセスの向上及び交通安全の確保を図るため、平成25年度から事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

地域の理解度が進み、協力的になった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- 現状維持
- 改革改善(縮小・統合含む)
- 終了・廃止・休止

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

令和2年度に事業完了予定

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持
- 改革改善(縮小・統合含む)
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

令和2年度に事業が完了する予定である。